

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令 和 8 年 上 半 期 分 : 速 報)

<対世界>

○輸出総額:6兆6,246億円(伸率: +9.8%) ⇒ 11期連続のプラス

・順位:1位

(順位は、昭和54(1979)年上半期以降(95期)による。以下同じ。)

・増加品目:半導体等電子部品(同+25.3%)、銅及び同合金(同+58.3%)

○輸入総額:4兆9,994億円(伸率:▲1.7%) ⇒ 6期連続のマイナス

・順位:9位

・減少品目:原粗油(同▲40.8%)、石油製品(同▲18.3%)

○差引額:1兆6,252億円(伸率: +71.9%) ⇒ 6期連続の輸出超過

・順位:1位

為替レート: 2026年上半期:157.75円/ドル(2025年上半期:149.47円/ドルと比べ5.5%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等電子部品(7,341億円→9,198億円、伸率: +25.3%)は、香港(2,844億円→3,849億円、同+35.4%)及びベトナム(954億円→1,600億円、同+67.7%)向けが増加し、2期連続のプラスとなった。

また、銅及び同合金(1,343億円→2,127億円、同+58.3%)は、インド(191億円→532億円、同2.8倍)及び台湾(219億円→329億円、同+50.7%)向けが増加し、2期連続のプラスとなった。

一方、有機化合物(2,264億円→1,857億円、同▲18.0%)は、中国(875億円→621億円、同▲29.1%)及び韓国(358億円→291億円、同▲18.9%)向けが減少し、4期連続のマイナスとなった。

○輸入

原粗油(1,416万KL→787万KL、伸率:▲44.4%、1兆239億円→6,065億円、同▲40.8%)は、サウジアラビア(579万KL→336万KL、同▲42.0%、4,242億円→2,350億円、同▲44.6%)及びアラブ首長国連邦(551万KL→288万KL、同▲47.7%、3,948億円→2,286億円、同▲42.1%)からが減少し、7期連続のマイナスとなった。

また、石油製品(2,744億円→2,241億円、同▲18.3%)は、アラブ首長国連邦(861億円→228億円、同▲73.5%)及びカタール(351億円→121億円、同▲65.5%)からが減少し、4期連続のマイナスとなった。

一方、金属鉱及びくず(5,498億円→7,029億円、同+27.9%)は、チリ(1,644億円→2,430億円、同+47.8%)及び台湾(313億円→610億円、同+94.7%)からが増加し、3期ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同期比